

炭酸ガスくん蒸処理と天敵資材を組み合わせたイチゴのハダニ対策

農業研究部

1. 研究の背景

大分県オリジナルイチゴ品種「ベリーツ（大分6号）」の生産の拡大に取り組んでいるが、複数の薬剤に抵抗性を持つナミハダニの防除に苦慮している。化学農薬のみに頼らない病害虫総合防除体系を構築し、イチゴの安定生産と産地拡大を支援する。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

炭酸ガスくん蒸処理とは、農薬登録されている『くん蒸用炭酸ガス』を用いて、定植前のイチゴ苗をくん蒸することによって、ハダニ類を殺虫し、本圃へのハダニ類の持ち込みをなくす手法である（図1）。

定植後にハウス外からの侵入対策として、ミヤコバンカー等の天敵資材や防虫ネットを併用することにより、長期間にわたりハダニ類の発生を抑制できる（図2）。



図1. 炭酸ガスくん蒸処理の様子

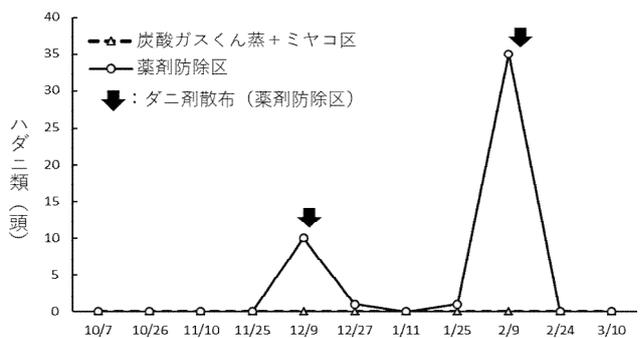


図2. ハダニ類の発生推移（50株あたり）

3. 期待される効果

- ・ハダニ類の被害軽減による生産安定
- ・本圃での化学農薬散布回数や天敵資材の使用量の低減
- ・天敵資材の定着性の向上や効果継続期間の延長

4. 担当機関連絡先

農業研究部 病害虫対策チーム
TEL：0974-28-2078
住所：豊後大野市三重町赤嶺2328-8